

発表者 青木 仕

テーマ 「地域に生まれ、やがて地域を担う子どもたち」

東中野に住んでおります青木仕と申します。よろしく申し上げます。

「地域に生まれ、やがて地域を担う子どもたち」というテーマで発表させていただきたいと思います。

発表の内容は、1、「私の生まれ育った故郷、中野区での子育て体験」「子育てから感じた家庭教育の重要性」「中野区の子育てに活用できる資源」、そして、提言としまして2つ、「子育てしやすい環境の充実」「学ぶ機会の多様化の保障」ということでまとめさせていただきたいと思います。

まず、私の生まれ育った故郷は都下の日の出町、私が幼い頃は村といわれていました。秋川溪谷、川遊び、プールがなかったものですので、水泳は川で覚えました。

隣組の地域では、冠婚葬祭を協力したり、秋祭り、鳳凰の舞というのは、国の無形文化財になっているような田舎の村でした。

いじめはなかった小中学校生活でした。あぜ道を通って通学、小中学校とも今、35人学級が推奨されているようですけれども、30人でした。親同士が皆知人のような地域でございました。

それから、中野区に来まして40年間、東中野に在住しております。夫婦共働きで1人、娘がおります。そのため、東中野の保育園から学童保育、ベビーシッター、いろいろお世話になりました。地域の子育てを通して、東中野のいろいろな秋のお祭りとか、あと、いろいろ商店街の皆さん、靴屋さん、魚屋さん、酒屋さん、あと、マンションの管理人さんやマンションの住民にお世話になって育てていただきました。このひとり娘も現在は、医学のほうに進み、大学病院で感染症の専門医として今、コロナの最前線で診療に当たっております。

「子育てで感じた家庭教育の重要性」ということで、子どもの教育は学校教育だけでは賅えないと思います。子どもは学校にいる数倍の時間を親とともに過ごします。ことわざにありますように「子どもは親の鏡」といわれています。子どもは親の姿を常に見ております。

子どもを育てるに当たって、幼いときから1人の人格者として認めることが必要ではないかと思えます。家庭と学校、地域との協力は不可欠だと思われれます。

次に、「中野区の子育てに活用できる資源」ということで、教育資源と文化資源を大きく分けてみました。教育資源は、児童館は18とか、図書館は8つ、あと、文化資源としてはいろいろ哲学堂公園とか、中野サンプラザ、全国勤労青少年会館という別名がありまして、結婚式などもすごくお安く挙

げることができます。

神田川沿道、私のウォーキングコースですけれども、四季の花々、あと、児童唱歌「たきび」、上高田の地もあります。鍋屋横丁、その他たくさんの昔が中野区にはあると思います。

「子育てしやすい環境の充実」ということで、それらの教育、文化資源をリカレント教育に活用して、中野区に生涯教育の場を提供することが必要ではないかと思っています。子育てがしやすい教育環境の整備、ひとり親世帯への支援、保育園、学校、学童保育の充実が挙げられます。住民一人ひとりが幸せを感じられる教育の支援、また、少子高齢化社会、人生100年時代といわれています。そのことによって学ぶ機会の多様化が生まれてくると思います。

最後に、「学ぶ機会の多様化の保障」ということで、オンラインやサテライト授業などで社会人への教育機会の拡充と進展を図る必要があるのではないかと思います。

社会経験と知識を持つ人材の活用、豊富な背景を持つ人々の活躍の場を確保し、人的資源を中野区に還元させる工夫、あと、たくさんの経験が必要ではないかと思っています。

以上、それらをまとめて、子どもたちが中野区に生まれてきてよかったと思えるふるさとづくりと教育環境の整備と充実を図る必要があるのではないかと思います。以上でございます。ありがとうございました。

区 長 どうもありがとうございます。東中野にもう40年ということですが、40年間中野でずっと暮らしてきている中で、お子さんも恐らく地域でお育てになられたと思うのですけれども、その中で、中野の地域性というか、教育の特殊性や特徴、そういうものはどういうものだと思っていらっしゃいましたか。

青 木 先ほどもお話ししましたけれども、自分の育った田舎とはやはり大分違いますし、マンション住まいですし、田舎に比べて人と人とのコミュニケーションというか、そういうものは薄いと思いますけれども、うちの娘の場合は、いろいろサポートしていただいて、うまく育てていただけたと思っています。

区 長 日の出町と比べたら、地域の人同士の間関係というのは軽薄だし、日の出町が逆にすごく濃密だということはあるかもしれませんが、でも、やはりそういう地域のつながりというのは、都会においてもやはり私は必要だと思っています。そ

れをつくっていくにはどういうものが必要なのでしょうか。

青 木 やはり、積極的に、先ほども申しましたけれども、近くの商店街の皆様にもいろいろサポートしていただいたり、小さかった娘をよく見ていてくださって、助かりました。やはり、こちらから積極的に進んでコミュニケーションを図っていくということは必要ではないかと思っております。

区 長 ありがとうございます。中野はこれからますます少子高齢化が進んで地域の力というのをこれからつけていかなければいけないと思っています。ありがとうございました。